

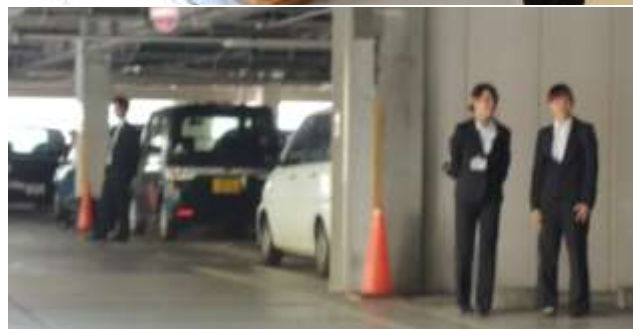
学校公開から学ぶ

10月31日(金)に、福島第三小学校で公開授業研究会が行われました。大学の全学休校と重なり、8名の学生が学校ボランティア活動をしました。500名の参観者があり、学生はPTAの方々といっしょに受付や駐車場整理、最後の後片付けの支援活動をしながら、授業を参観し分科会に参加しました。2年生も参加し、活動から多くの「学び」がありました。

現在、37名の学生が登録しています。学校現場で、実際に活動しながら実践的な「学び」を深める絶好の機会です。一步踏み出してみませんか。



(上) 11:50 学校到着



(上) PTAの方々といっしょに説明を聞きました。

(中) 受付係り (下) 駐車場係

3年生の道徳

2年 真船 紗弥

まず、座席に驚いた。あとで、道徳の時間には机の向きを変えることを知った。子どもたち同士で話し合いをしたりするには、とても効果的だと感じた。

次に、発問の数が少ないと感じた。先生が一方的に進めるという授業ではなく、一つの発問をして、子どもたちの発言から「その話詳しく教えて」とか「どうしてそう思ったの?」「同じことを考えたよっていう人いる?」と、広がる授業だと感じた。

参観のあとの分科会にも参加させていただき、先生はあらかじめ子どもの考えを2つ用意していて臨機応変に進めたということを知り、1つの授業を子どもの目線と教師の目線から見るのができた。発問1つ取っても、中心発問、補助発問といった工夫が様々あることを知った。

自分だったらどうしていただろうかと考える場面もあった。

これからも、いろいろな機会をとおして授業を参観し、深めていきたいと思った。

4年生は、4月1日から教壇が待っています

昨年度、2名の4年生は採用が決まった後期から、4月1日から始まる教員生活への不安を少しでも自信に変えようと学校ボランティア活動を始めました。3月23日の修了式の日まで毎週活動し、子どもたちと担任の先生から多くの実践的な「学び」を体験し、現在はその「学び」を生かして子どもたちと学校生活を過ごしています。

5年生の道徳

2年 高橋 里帆

今まで付属小の授業参観はあったが、普通の公立学校の授業を参観したことがなかったので、貴重な体験になった。

まず、児童一人ひとりが真剣に考える姿、先生の問いかけの仕方が印象に残った。私が小学生のときには、発言する人もそう多くはなかったので、自分の意見をしっかり持ちみんなに聞こえるように大きな声で発表している様子が、すごいと思った。

次に、先生の机間指導に注目した。先生はただ机間巡視するのではなく、一人ひとりがどのような意見を持っているかメモをとりながらされていた。また、教材も考えやすいように工夫されていて、子どもたちが興味を引くような教材・題材が必要なことも学んだ。

駐車場の誘導を手伝ったが、こういう仕事をする人も学校には必要なことも初めて実感した。今まで生徒としてしか学校を知ることはなかったので、新しくたくさんのことを学ぶことができた。



(上) 授業の様子 (中) 算数の分科会の様子
(下) 500脚のパイプ椅子を片付けました。

1. 登録人数(11/19 現在)

	2年	3年	4年
福島市	4	14	8
郡山市	0	2	3
伊達市	0	5	1
合 計	4	21	12

2. 主な活動校

福島市	福島三小、清明小、杉妻小、金谷川小 渡利小、蓬萊東小、福島四中、信陵中
郡山市	芳山小、日和田中
伊達市	保原小、桃陵中



最後に、校長先生からお礼のあいさつがありました。

【問合せ先】 学校ボランティア支援室は、疑問、困りごと、要望、相談に応じます。

(理工107 e-mail: 齋藤幸男 ysaito@educ.fukushima-u.ac.jp

二瓶洋允 hnihei@educ.fukushima-u.ac.jp

【相談時間】 月～金(9:00～16:30)

【体験訪問】 水曜日は、保原小学校で全校『学び合い』を体験できます。